

(別紙)

実務家教員育成研修プログラム受講申込書
(2022年度版)

(申込書提出日：西暦 0000 年 00 月 00 日)

ふりがな	○○○ ○○○		写真 概ね6カ月以内に撮影された顔写真(データ)を張り付けてください。
氏名	○○ ○○		
生年月日	西暦 年 月 日		
血液型	○型		
勤務先			
地位・職名			
勤務先所在地	〒		
現住所	〒		
本籍地	都道府県名を記入してください。		
電話番号	個人に連絡がつく番号(携帯電話等)を記入してください。		
メール	添付ファイルが受信可能な個人メールアドレスを記入してください。		
保有資格	建設関係の技術資格(学位を含む、公的資格優先)のうち、現在保有しているものを記入してください。		
最終学歴	0000年00月	○○大学大学院○○研究科○○専攻 修士課程修了	
高専学歴	ある場合は高専名(例：○○高等専門学校 卒業)を記入し、無い場合は“なし”と記入してください。		
職歴	※	西暦年月	勤務先, 所在地, 地位・職名, 業務内容
		0000年00月 ~0000年00月	(記入例) ○○建設, 大阪府, 工事長, 都市土木構造物の施工管理
		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
	①	年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
	②	年 月~	最終行は現在の職について記入してください。

職務実績①	選択した職歴①について、当該職務での立場、役割、業務実績等を具体的かつ簡潔に記入してください。(300字程度)
職務実績②	選択した職歴②について、当該職務での立場、役割、業務実績等を具体的かつ簡潔に記入してください。(300字程度)
教育実績	教育機関に限らず、企業内研修、業界団体等主催の講習会等での教育実績があれば、主催者、対象者、テーマ、内容（講義、実習・演習、現場指導、研修テキスト・マニュアル作成等）、成果等を記入（100～150字程度）し、無い場合は“なし”と記入してください。
申込理由	当該プログラムで修得したいスキル、実務家教員を志す理由、実務家教員としてのキャリアパス希望等について、自由に記入してください。(200字程度)
教材作成・教育実習の希望テーマ	当該プログラムでは、「教育能力養成講座」で各人の実務経験や実務能力を活かした教材を作成し、「実証講座教育実習」で実際に教育指導・評価を行います。どのようなテーマで取組みたいか、希望を記入してください。(文字数制限なし) 例：〇〇大橋拡幅工事の経験を踏まえて「橋梁の幅員拡幅工事の設計的要点」や「橋梁の幅員拡幅工事の施工的要点」をテーマに教材作成を考えている。
通信欄	現在の勤務環境、勤務状況、当該プログラム受講に係る勤務先からの理解・支援の有無、健康状態等について、必要に応じて記入してください。(文字数制限なし)

※ 職務実績を記入する職歴を2つ選択し、職務実績に対応する番号①、②を記入してください。

★ 赤字は注意事項、記入要領、記入例等です。削除の上、黒文字で記入してください。

★ 本様式は2ページで作成していますが、必要に応じて3ページ以上になっても構いません。